

学校運営協議会(第2回)議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	令和元年 12月 5日(木) 10:00 ~ 12:00
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	高塚 良則(会長) 八尾 康典(委員) 木下 清一(委員) 山田 末人(委員) 森近 美子(委員) 岩出 るり子(委員)
出席者(学校)	西村 誠三(校長) 室田 澄江(教頭) 大根 智大(教頭) 麻生 豊(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 西島 洋美(首席・高等部主事) 大西 直子(中学部主事) 山田 恵子(指導教諭・小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	次第、資料1:学校経営計画及び学校評価、資料2:学校教育自己診断アンケートについて 資料3:授業アンケート(報告)
備考	

議題等(次第順)
<p>(1)校長挨拶</p> <p>(2)議事</p> <p>①本校の「平成 31 年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について</p> <p>②「学校教育自己診断」について</p> <p>③「授業アンケート」について</p> <p>④その他 意見書より</p> <p>(3)今後の予定</p>
協議内容・承認事項(説明・意見の概要)
<p>(1)校長挨拶</p> <p>大阪府の動きとして、ひとつは知的支援学校過密解消のため3~5年先に新校(2校)ができる。もうひとつは通学支援。医療的ケアが必要なため通学バスに乗れない子どもが、介護タクシー等に看護師を乗せて通学する。今年度はモデル事業で実施している。来年度全員対象(約170名)だが、一斉に始めるための福祉車両と看護師の準備が間に合わないところがあるのではないかと。まずはできるところからスタートできればよいと考える。変形労働時間制(さ来年度)についても注目をしていきたい。</p> <p>まずは本校のあし元をしっかりと固めていきたい。よろしくお願いいたします。</p> <p>(2)議事</p> <p>①本校の「平成 31 年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について</p> <p>【協議内容】(主な意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道である神戸の教員のいじめに関して学校の組織運営はどうなっているのだろうかと疑問に思う。一部の教員の不幸事で、全てがそうだと見られる。一生懸命の教員の信頼を損なうことのないようにしてほしい。メンタルでしんどくなっている教員を敏感にキャッチするようにはしていけないのではなか ・大規模震災対応において、6市にまたがる広い校区もあり、一斉配信メールで相互やり取りは重要。 ・産業医には実際に職員室を巡回してもらい助言をいただいている。視界の悪い箇所、机上やその下まで見ていただき、整理整頓の必要が感じられる座席にはメモを置いて周知。「机が散らかっていると仕事はかどらない。」ことは字義以上に重要なポイントだと助言をいただいている。 ・メンター・チューター制の初任者、2~4年目、ベテランがトライアングルとなり、互いに成長を図ろうとする取り組みはなかなかよいと思う。ぜひ参考にしたい。

- ・医療的ケアの国委託事業において宿泊行事にドクターがついていってくれたことは画期的だと思う。
- ・地域住民による踊りを交野支援でも披露させてもらう予定で、とても楽しみにしている。
- ・不祥事が続くと府から研修の指導、指示も受けているだろうが、現実問題として繰り返し生起している。何が有効なのかを考えていく必要がある。毎月のセルフチェックシートは続けていけばよい。
- ・働き方改革は、教員は全てを全力でこなそうとする面もある。仕事の優先順位を決めて行けるかに視点もポイント。

②「学校教育自己診断」、「授業アンケート」について

【協議内容】（主な意見交換）

- ・授業アンケートにコメントの欄はあるのか？問題となるコメントはないのか？
 - コメント欄はあり、いくつか意見を書いていた部分には反映させている。開示は管理職限りのアンケートであることも了承しておいてほしい。
- ・学校教育自己診断の実施時期が早いのではないか。
 - 11月6日配付。11月20日×切。次年度に向けて取り組むにはぎりぎりのライン。
- ・学校教育自己診断の結果より、
 - 児童生徒用 生徒と教員の関係の良好さを感じる。
 - 保護者用 理解されていることは1番大事なことである。
 - 教職員用 残業平均時間は22時間半と減少傾向であるが、教材準備、情報交換の時間の確保は今後ともまだまだ課題である。
- ・学校教育自己診断アンケートの保護者の回収率が低い。重要だということをわかってもらうことが大事。
- ・児童生徒用6番「話ができる先生がいますか」話ができるとの回答が高いのがいい。
- ・教職員用12番「医療的ケアに関するチェック体制が機能しており、安全に行うことができる。」があがっている。安全安心な学校ということでよいこと。
- ・学校教育自己診断アンケートの保護者の結果が概ね上がっているのは評価できる。ただ、保護者の中には悪い評価はつけにくいものであるとの意見も聞く。
- ・教員の中で「わからない」が多かった5番「いじめ(疑いを含む)が起こった時の体制が整っており、迅速に対応することができる。」は設問(聞き方)を「できる体制がある。」または「できると思う。」へと変更を検討する。20番「地域への相談支援体制ができており、特別支援教育のセンター的機能を発揮している。」については地域へのセンター的機能は重要な役割として果たしてきている。情報提供も大切だが、近くの教員の仕事が見えにくいことが課題であり、互いに意識を向けることができる学校作りが大切。

③その他

- ・放課後デイサービスが増えて、バスに乗ってかえる子どもが少ない、ということが印象に残った。活用は考えられないだろうか。
- ・医療的ケアの通学支援の件、知事の議会発言もあり、すぐにできると保護者の期待も高いが、細かいところはこれからだということがわかった。
- ・学校にいる間は守られているが、卒業後が大きな課題。府はそこにも注視してほしい。順にさらにいうと例えば自立センターにいる間はまだ守られている。そこを出たあとどう社会があるのかが問題。例えば市の循環バスの廃止が決定されるなどもあり、高齢者、障がい者が大変困る事態も予想できる。市へ働きかけをしている。
- ・意見書はなし

【学校より】

子どもたちが安心して安全に通える学校を一番にすえながら、次年度につながる教育にしていきたい。

次回の会議日程

日時	令和2年2月 20 日(木) 10:00～12:00
会場	大阪府立交野支援学校 校長室